

竹ヶ島海域公園自然再生事業実施計画【令和4年度～令和8年度】 概要

実施者

徳島県

協議会

竹ヶ島海域公園自然再生協議会

実施概要

失われつつある海域公園としての資質（エダミドリイシの大群集をはじめとする豊かな海洋生物を育んでいた沿岸生態系）を回復し、その存続を図ることを目的に、エダミドリイシをシンボルとした3つの個別目標と5つの基本方針を設定し、「エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける環境」を目指す。

◆ 自然再生の対象となる区域

最も重要な対象区域：竹ヶ島海域公園区域

その他：海部川、穴喰川及び野根川の3水系の河川流域とその周辺地域



凡例：対象範囲

（出典）徳島県（2024）「竹ヶ島海域公園自然再生事業実施計画【令和4年度～令和8年度】」〔下図：LANDSAT (ETM+) 2001. 4. 22〕

目標・効果

- エダミドリイシの特性把握
- 海域公園周辺環境改善
- 陸域からの環境負荷の軽減
- 地域の多様な主体の参加と連携による取組
- 海域公園と共生する地域漁業の活性化

◆ 本計画のポイント

- ・ 本計画は、「竹ヶ島海中公園自然再生全体構想」（平成18年3月策定）※を受け作成された「竹ヶ島海中公園自然再生事業実施計画」（平成23年7月策定、平成29年3月改定）の計画期間満了に伴い、事業進捗等を踏まえ、作成された。
- ・ 計画されている10の個別事業のうち、優先度の高い事業として、令和4年度～令和8年度にかけて徳島県が実施主体もしくは協力者として係わりを持つ下記の事業を対象に、取りまとめたものである。
 - ・ エダミドリイシの特性把握における生息環境研究事業（エダミドリイシの整理的生態的特性把握・海域環境と最適生息環境の差異把握・エダミドリイシの増殖手法の確立）
 - ・ 地域の多様な主体の参加と連携による取組における普及啓発推進事業（情報の共有化と情報ネットワークの構築・自然再生連携型エコツーリズムの展開・自主防災組織等の連携による環境防災活動の展開）及び地域活性化支援事業（活動拠点の整備と地元指導者育成）

※平成22年の自然公園法の改正に伴い、「竹ヶ島海中公園」から「竹ヶ島海域公園」に名称が変更されている。